PLASTIMO

プラスチモ電波時計

取扱説明書

この度は、プラスチモ電波時計をお買い上げいただきまして誠に有難うございます。この電波時計は電池を挿入後、自動で時間がセットされます。以下に時報電波の受信までの手順をご説明致します。

自動時間調整

自動時間調整の手順

① 単三電池を電池ケース内のプラス・マイナスシンボルマークに合わせて、方向を間違えないようにセットしてください。そして裏のムーブメントの緑色のピンを抜いてください。

② 電波時計は自動的に時間を探索します。探索中は秒針が3秒間隔で動きます。また、時報電波を受信すると秒針の動きは2秒間隔に変わります。

③ 秒針が1秒刻みで動き始めたら時報電波の受信は終了です。

※自動セッティングは時報電波の受信が十分良好な状態で行ってください。

①～③の過程が終了したにも関わらず正確と思われない時間を示した場合は、もう一度同じ手順を繰り返すか、次の『手動時間調整の手順』を行ってください。

地理的理由や建築物、その他の障害で受信に問題が生じる場合もあります。このような問題は、自動受信の手順を夜間に行うことで解決する場合があります。一般的に時報電波の質や到達度は夜間の方が良い場合が多いからです。

手動時間調整

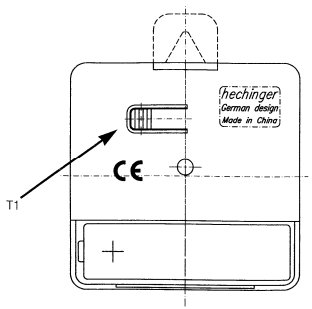
この電波時計は、FM電波の受信状況や初期の秒・分・時針が位置している状態によっては、正確な時間を示すまでに長時間（17分以上～数時間）を要する場合がございます。

早く正確な時間を表示する為には、手動で時間を調整する事をお勧めします。また、電池を入れ替える際や、実際の時間との誤差を調整する場合も以下の手順で行ってください。

手動時間調整の手順

① 乾電池の＋とーを逆に入れ、約5～10秒間放置してください。

② 次に電池を正しい向き(電池のシンボルマークに合わせて)入れ直して下さい。



③ 次に『T1』ボタンを12～15秒間位の間、秒針が動き出すまで押し続けて下さい。途中秒針が前後にゆっくり震え、その後小刻みに震えだし高速で回り出したら手を離してください。

④ 針が時計回りに動き出したら、現地時刻に達する直前に(20～30秒位が望ましい)再び『T1』ボタンを押して下さい。すると、秒針の高速調整モードが終了し秒針が1秒単位で時間を刻み始めます。

⑤ 『T1』ボタンを1回押す毎に1秒調整されます。12秒以下でボタンを押し続けると、より早いスピードで調整できるモードになります。12秒以上押し続けると高速で調整できるモードになります。

手動で時間を調整した後も時計は時報電波の受信を定期的に試みます。

クロックリセット方法

① 乾電池をはずし、逆方向に約10秒間入れます。

② 乾電池をはずし『T1』ボタンを押しながら、乾電池を正しい方向に入れます。

③ 時計の秒針が震えながらクイックセットモードに切り替わるまで『T1』ボタンを押します。

④ 自動的に針が動き出し12:00で止まってリセット完了となります。

*この作業には数分かかることがあります。

再び自動時間調整を行う場合は、乾電池を一度はずして逆方向に約10秒間入れます。乾電池をはずして正しい方向に入れ直すと、自動的に時間設定が始まり正しい時間に設定されます。ただし時報電波が良好に受信できることが前提です。

⚠前面ガラスを開けて直接針に触れたり、分解または改造したりしないで下さい。故障の原因となります。

その他の機能

- 電池消耗表示機能

電池が空になりかかると、秒針が分の区切り目に目立って遅い動きになります。できるだけ早く電池を交換してください。

- 同期化機能

最初の受信は使用開始の自動（もしくは手動）時間調整時になされ、その後1日に4回に渡って現行の時間と受信時報時間との同期化を行います。